



追悼 竹村英二教授のご逝去を悼んで

本学部で教鞭を執られていた竹村英二先生が、2020年2月15日にご逝去されました(享年57歳)。謹んで竹村先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

竹村先生は2002年学部開設当初より専任教員として着任され、18年間に亘り教育と研究にご尽力されました。また、21世紀アジア学会理事、アジア・日本研究センター研究員としての職務も全うされ、学部運営に貢献されました。

竹村先生はユーモラスなお人柄である一方で、紳士的で凛とした空気を纏う姿を持ち合わせ、髭がトレードマークであるその姿は英国騎士のようであり、また武士のようでありました。あまりにも早いご逝去に、私たち教職員ならびに学生諸氏は非常に残念でなりません。

今後も、竹村先生がこれまで築きあげて下さった研究・教育活動を発展できるよう、取り組んでまいります。先生のご尽力にあたためて心から敬意を表し、先生への感謝と哀悼の意を込めて追悼文を捧げます。

21世紀アジア学部
学部長 横沢民男

本学会理事の竹村英二先生の突然の訃報に、直前まで理事として大会の準備に勤しんでおられた様子を知っている者として、ただ驚くだけでした。

たまたま研究室が隣同士であったため、個人的にも竹村先生の立派な人格に触れる機会がよくありました。学生からの信望も厚く、また学究肌で厳格な一面がありながら、突然ボソリと漏らす劉軽な冗談も忘れられない一面でした。日本思想史の専門分野では国際的なスケールで活躍され、本学会の大会にお呼びするゲスト講演者も竹村先生からの紹介であることが少なくありませんでした。この2年間は、体調不良を押しながら学会の運営に多くの貢献をいただきました。学会の発展にとって大きな支えを失った喪失感に、今はただ呆然とするばかりです。

これまでの多大なるご貢献に心より感謝申し上げ、謹んで竹村先生の安らかなるご冥福をお祈りいたします。

21世紀アジア学会
会長 土佐昌樹

